

---

# REALPIXEL イメージスキャナ 取扱説明書

製品名/型番	RPS-4800
モデル名	202010A1(反射モード) 202010A2(反射モード/透過モード)

Rev.A

2020.10.22

アイメジャー株式会社

---

改変履歴

Revision	制 定 日	理 由
A	2020.10.22	・ 新規制定



1-4. 透過原稿ユニットを取り付ける (透過原稿ユニットを併せてご購入の場合)



透過原稿ユニットを取り付けます。

(※注意) 透過原稿ユニットに付属の保護マットの扱いについて。

- ・電源投入時は外して下さい。
- ・反射モードでスキャンする場合は原稿浮きを抑える為に取り付けて下さい。

1-5. 透過原稿ユニットのキャリッジロックを解除する (透過原稿ユニットを併せてご購入の場合)



透過原稿ユニットの内側にあるキャリッジロック (輸送時固定ネジ) を Unlock 側へ回転します。輸送時には、Lock 側へ回転します。

1-6. 原稿透過ユニットのケーブルを接続する（透過原稿ユニットを併せてご購入の場合）



原稿透過ユニットのケーブルを接続します。

**(※注意)** 接続前に電源が入っていないことを確認して下さい。

電源を入れたままで透過原稿ユニットのケーブルの抜き差しを行うと装置故障の原因となります。

1-7. 電源ケーブルを接続する



A C 100V 電源ケーブルを接続します。

1-8. 本体電源スイッチを入れる



RPS-4800 は、電源投入時に光源の光量に応じて校正（キャリブレーション）を行います。Ready（緑色）ランプが点滅している間は、使用できません。Ready ランプが連続点灯状態になりましたら次に進みます。

1-9. USB ケーブルを接続する（写真は、透過原稿ユニットを併せてご購入・接続の場合）



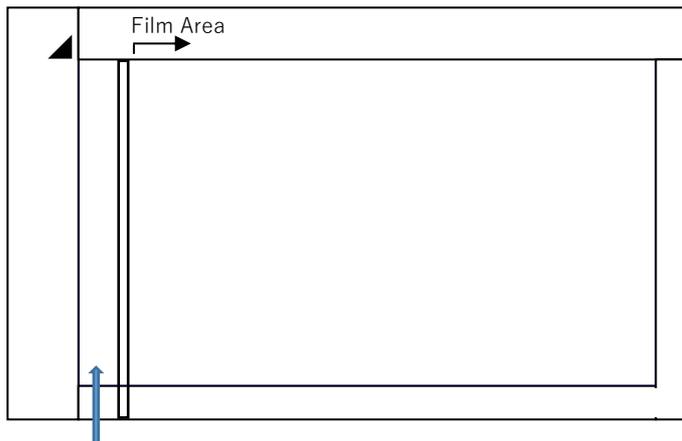
USB ケーブルを RPS-4800 背面に接続します。もう片方を PC の USB ポートに接続します。

初めてソフトウェアを PC にインストールした後の最初の 1 回目は、USB ケーブルを接続した直後、スキャナが自動認識されます。（名称：DS-G20000）。その後、スキャナ用ドライバー（TWAIN datasource）が自動的にインストールされます。

---

## 1-10. 透過原稿をスキャンする場合

- ・透過原稿（フィルム等）をセットする際には、下記に注意下さい。

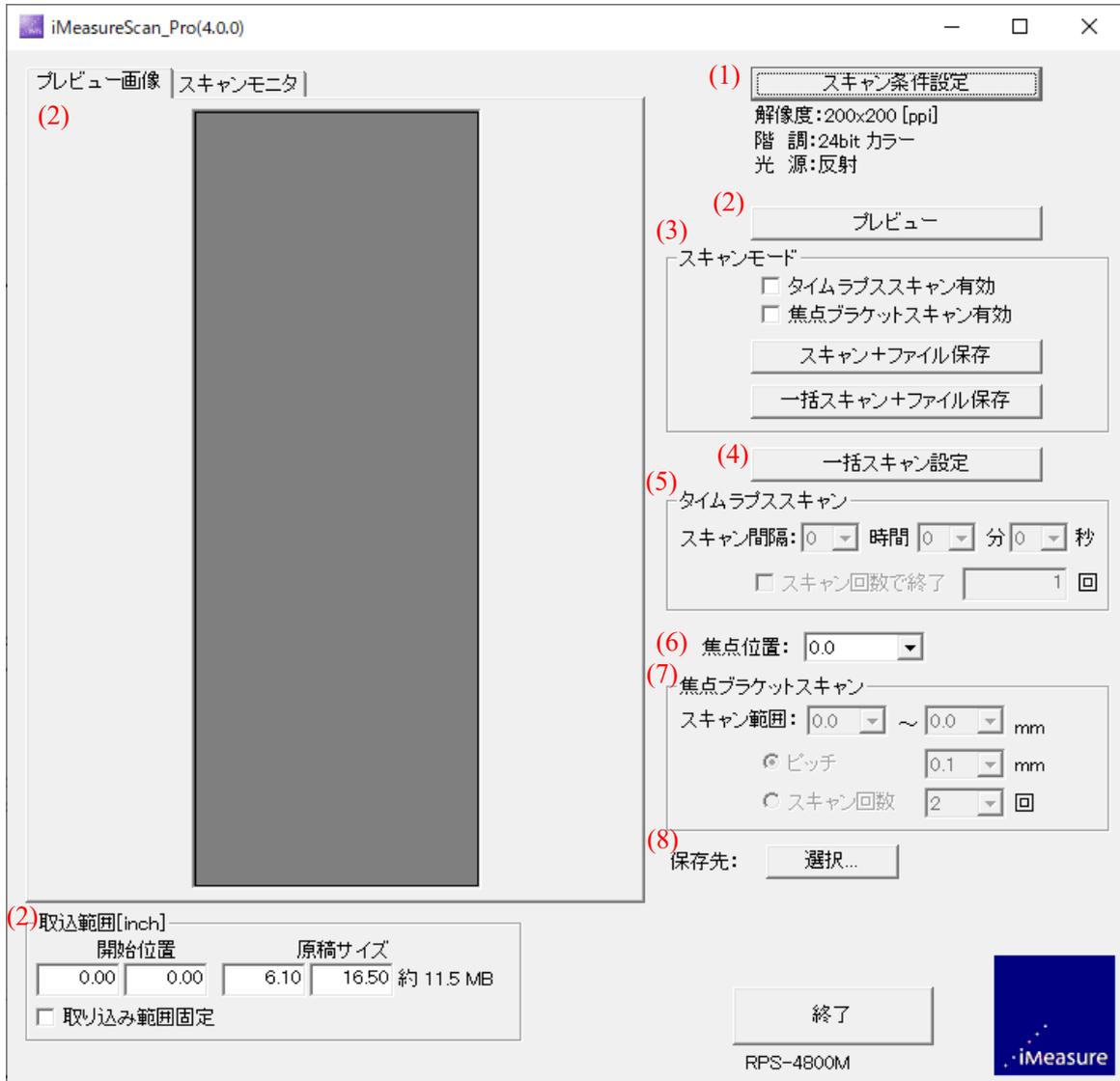


原稿台のこの領域は、「透過原稿用白基準」領域と呼び、透過モード時の校正用データ取得に使用する重要な領域ですので、清浄に保って下さい。

## 2. スキャナ駆動ソフトウェア iMeasure Scan Pro で画像を取り込む

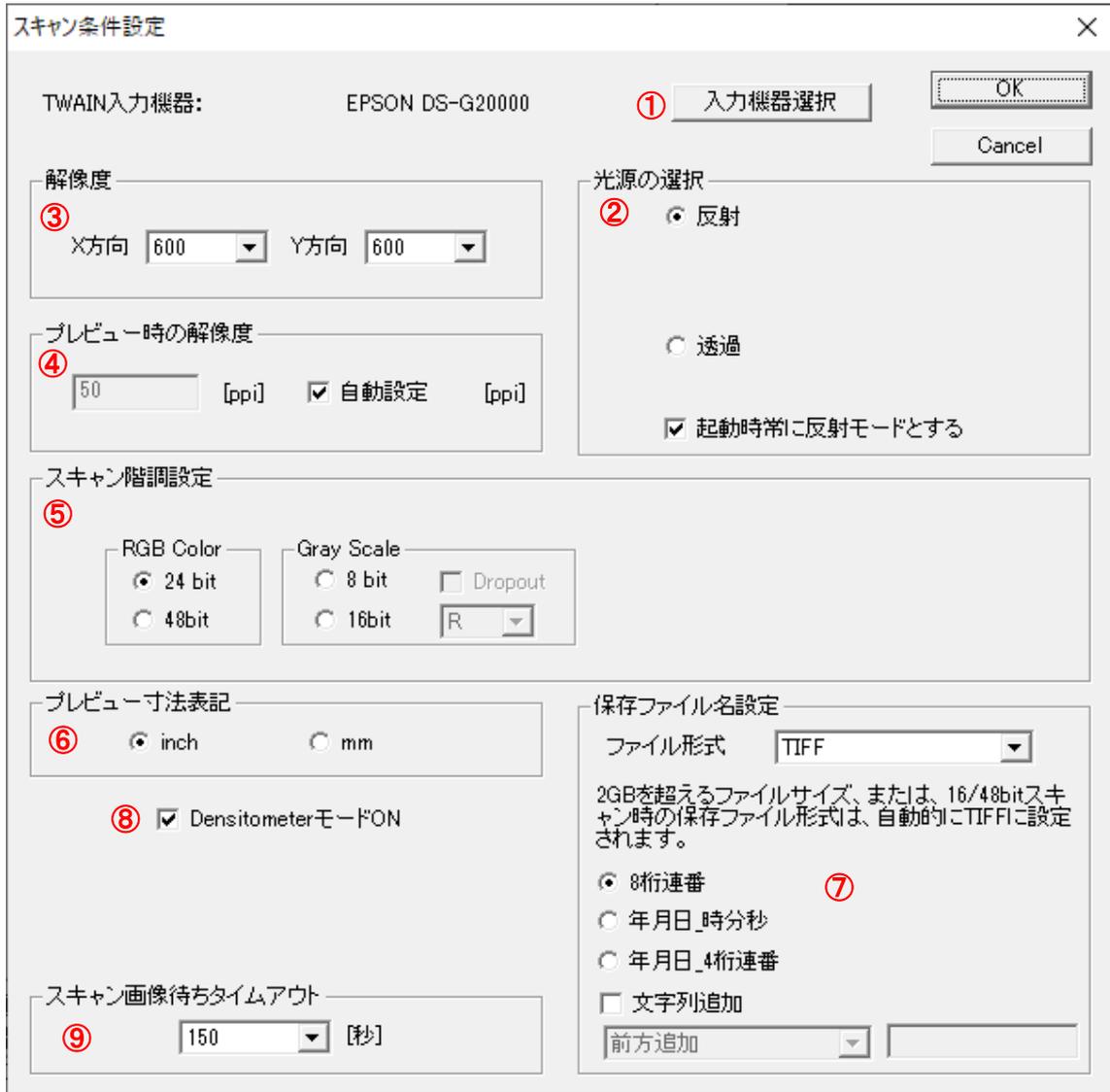
### 2-1. iMeasure Scan Pro を起動します。

USB ドングルを PC に挿入した状態で、起動すると下記のメインダイアログが表示されます。



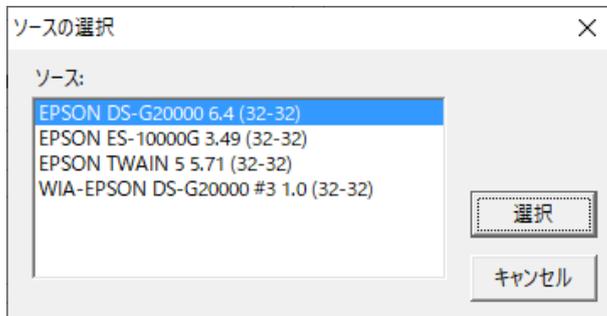
#### (1) スキャン条件設定

このボタンをクリックすると、「スキャン条件設定」の画面が現れます。(次ページ)



① 入力機器選択

使用するスキャナを選択します。本機では、EPSON DS-G20000 を選択して下さい。



## ② 光源の選択

原稿種を選択します。

「プレビュー」、「スキャン+ファイル保存」の場合に適用されます。

## ③ 解像度

取り込み解像度を設定します。

X方向、Y方向の設定がありますが、X方向の設定のみ有効で、X方向とY方向は同じ解像度でスキャンが実行されます。

尚、ファイルサイズ表示を正しくするために、X方向とY方向は同じ解像度を設定して下さい。

## ④ プレビュー時の解像度

プレビュー実行時の解像度を設定します。

通常は自動設定で使用します。自動設定でない場合には、50ppiを推奨します。

## ⑤ スキャン階調設定

保存ファイルの階調を設定します。

- ・ RGB Color 24bit : R,G,B 各色 8bit (256 階調)

- ・ RGB Color 48bit : R,G,B 各色 16bit (65536 階調)

- ・ Gray Scale 8bit : グレー8bit

- ・ Gray Scale 16bit : グレー16bit

- Dropout : グレーの場合、特定色チャンネルのみの画像にします。

## ⑥ プレビュー寸法表記

プレビュー画面で取り込み範囲寸法の表記を「inch」か「mm」の選択をします。

## ⑦ 保存ファイル名設定

ファイル形式とファイル名のつけ方を選択して下さい。

## ⑧ Densitometer モード ON 設定

ON : 設定すると、ガンマ変換が行われない状態でスキャンが実行されます。

濃度測定(反射率/透過率)時には、ONに設定してご使用下さい。

OFF : チェックを外すと、ガンマ 2.2 で変換された画像データを取得することができます。

ディスプレイに表示するための画像を取得するとき等は、OFFに設定してご使用下さい。

詳しくは、弊社 HP に掲載の発表論文「日本画像学会技術講習 カラーイメージスキャナの設計技術」の「3-3-2. ガンマ変換」をご覧ください。

<https://www.imeasure.co.jp/support/catalog.html>

弊社 BLOG 記事 :

<http://imeasure.cocolog-nifty.com/blog/2009/11/srgb22-2780.html>

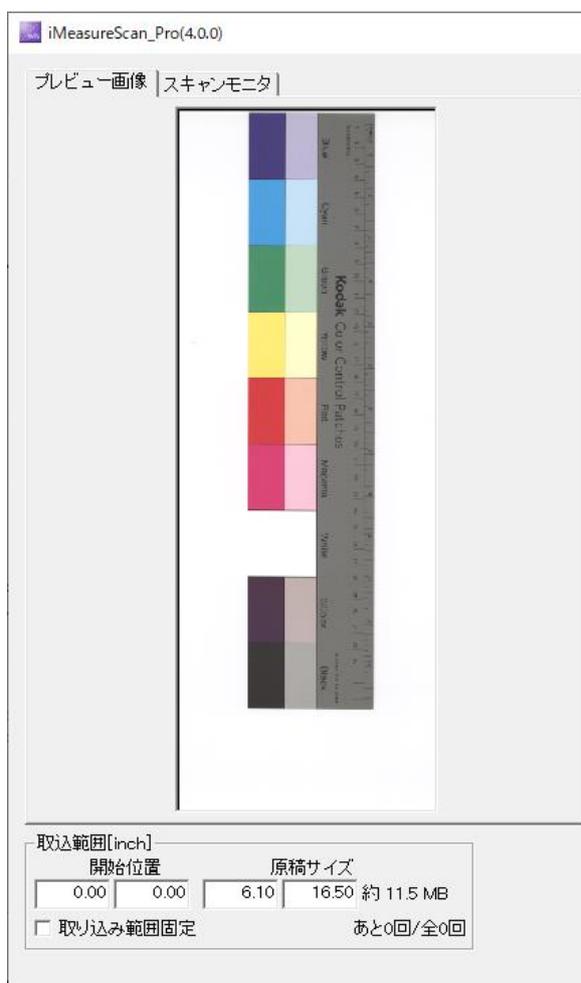
も併せてご覧ください。

⑨ スキャン画像待ち

スキャン画像待ちタイムアウトを設定します。デフォルトの設定(150 秒)のままにしてください。

(2) プレビューと取り込み範囲の設定

プレビューボタンをクリックすると、「スキャン条件設定」に従ってスキャンされた画像がプレビュー画像のタブに表示されます。



- ・プレビュー画像上の取り込みたい部分をマウスでドラッグすることで、取り込み範囲の設定をすることが可能です。
- ・取り込み範囲は、メインメニューの左下に「開始位置」と「原稿サイズ」の数値として表示されます。数値を直接入力することでも設定できます。
- ・「取り込み範囲固定」にチェックを入れると、設定範囲がロックされます。

**【注意事項】**

- ・TIFF ファイルは 3.8GB、BMP ファイルは 2GB のファイルサイズ制限があります。この制限を超えないように、スキャン階調と取り込み範囲を設定して下さい。
- ・原稿サイズは、1inch 以上の値を設定して下さい。1inch 以下の設定をした場合には、意図した取り込み範囲にならない場合があります。

### (3) スキャンモードの設定とスキャンの実行

#### 【スキャンモードの設定】

##### 通常スキャン

どのボックスにもチェックを入れない場合は通常スキャンになります。

##### タイムラプススキャン有効時

(5) タイムラプススキャンで設定した条件で、繰り返しスキャンを行います。

##### 焦点ブラケットスキャン有効時

(7) 焦点ブラケットスキャンで設定した条件で、焦点位置を変更しながら、繰り返しスキャンを行います。

#### 【スキャンの実行】

「スキャン + ファイル保存」をクリックすると、②光源の選択で設定した原稿種でスキャンします。

「一括スキャン + ファイル保存」をクリックすると、(4)一括スキャン設定で選択した原稿種でスキャンします。

### (4) 一括スキャン設定

このボタンをクリックすると、下記のメニューが現れます。反射と透過にチェックを入れると、1回の操作で反射モード、透過モードの画像を取り込むことができます。



### (5) タイムラプススキャン

スキャン間隔とスキャン回数を設定します。

### (6) 焦点位置

焦点位置の設定をします。原稿台ガラス面を基準に、0.1mm 単位で、-2.0mm~+6.0mm の範囲(+がガラス面の上方)の焦点位置の設定ができます。

### (7) 焦点ブラケットスキャン

スキャン範囲で、焦点位置の開始位置と終了位置を設定します。ピッチで焦点位置の刻みを設定します。スキャン回数で焦点位置の開始位置と終了位置の分割数を設定します。ピッチ、スキャン回数はどちらか一方が有効になります。

---

(8) 保存先

「スキャン + ファイル保存」、「一括スキャン + ファイル保存」におけるファイルの保存先を設定します。

以 上

お問い合わせ先：

RPS-4800 の使用方法等に関連して、不明な点がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

電子メール           ： [info@imeasure.jp](mailto:info@imeasure.jp)

電話                    ： 0263-50-8651